

# 道徳の時間学習指導案

指導者 溝上 孝弘

1. 学 年 第6学年1組 30名
2. 日 時 平成18年6月16日 (金) 第5校時 体育館
3. 主 題 名 本当の自由ってなんだろう 1-(3)
4. 本時のねらい

身勝手な行動をするジェラール王と森の番人ガリューの関わりから、本当の自由について考えることを通して、自由を大切にし、規律ある行動をしようとする心情を育てる。

5. 資 料 名 うばわれた自由 (文科省読み物資料)

## 6. 主題設定の理由

○ 自分自身をよりよく高めていくためには、何ものにもとらわれない自由な考え方や行動が大切である。しかし、その自由は放縱とは区別される。自分の自由な意志によっておおらかに生きながらも、そこにはけじめがあり、内から自覚された責任ある規律が伴っていなければならぬ。

この時期の児童は、自律的な態度が発達し、責任感が育ち、批判力もついてきている。従つて規律を伴った自由の大切さを感じ取る素地は十分できていると考えられる。自らの手で、規律を守り、そのことが自由を大切にすることになるのだという指導が大切である。

人間はだれしも束縛されずに、自由に暮らしたいと願う。しかし、集団の中で生活している以上、それぞれが勝手きままに行動したのでは社会生活は成り立たない。そこで、社会的なきまりや秩序を守るための規律が必要となってくる。互いが自由であるためには、わがままで自己本位な行動をするのではなく、規律ある行動をとることが大切であることを理解させなければならない。そのために、よく考えて、自分を律する心情を育てていきたい。

○ 本学級の児童は明るく活発である。自分たちの思いも学級の中に積極的に出すことができ、おたがいの立場を大切にした行動も多くある。しかし、時に自己本位な言動に学級の中が左右される姿を見かけることもある。

子どもたちに「自由とはどんなことだと思いますか。」とアンケートをとったところ「まわりのことをよく考えて、自分の希望することができること。」が57%「自分の望む程度のことができる」ということ。が20%と自由には状況に応じて規律がともなっていることを社会生活と関連させて理解している児童が多い。しかし、「望むことが望むだけすべて行えること。」が3%「好きなことが気ままにできること。」が20%と自由と身勝手を混同してとらえている児童もかなり多くいることがわかる。

学校生活の中でも子どもたちの中から、「自由にしていい?」「自由にしよう。」という言葉をよく聞く。自分たちで進んで様々なことを計画したり、学級のことを考えた様々な要求を出すことも多くある。そこにはのびのびと自分たちのやっていきたいことを考えている場面もあるが、自己本位な考えがあったり、周囲の状況を考えない無責任な発言も多くある。

そこで、本学級の子どもたちには本当の自由とは何かを考えさせることを通して、自由な考え方や行動を大切にしていこうとする気持ちと同時に集団との関わりの中で規律が伴っており、その規律を大切にしていきながら自由を大切にしていこうとする意欲を育てていきたい。

○ 本資料は、自分の思いのままに行動することが自由であると思っているジェラール王子に、その考えが誤っていることを森の番人ガリューが諭すが、聞き入れない。しかし、ジェラール王子自身も、国内の乱れがもとでとらわれの身となり、改めて真の自由の大切さを知るという構成である。王子と森の番人ガリューとのやりとりを通して、それぞれが考える自由の相違に気づかせ、本当の自由は何かを考えさせていきたい。そして、自分たちの生活をふりかえりながら、自由を大切にし、責任を踏まえた規律ある行動をしようとする心情を育てたいと考える。

指導にあたっては、状況を把握する基本発問として「ガリューに『とらえてやる』といわれた王子は、どんな気持ちでしょう。」と問い合わせ、自分勝手にふるまえることが「自由」だととらえている王子の気持ちをとらえさせていく。その後、中心発問を効果的にする基本発問として、「しばらくの間黙り、そして、はらはらと涙を流した王子はどんなことを考えていたでしょう。」と問い合わせ、自分の自由が奪われてしまった後悔の気持ちだけでなく、自分の身勝手な行動が国をも乱してしまったことに気がつき、本当の自由について考えている王の気持ちに共感させていく。そして中心発問として「ガリューに『ごいっしょに本当の自由を大切にして、生きてまいりましょう。』と言われたジェラールは何と答えたでしょう。」と問うことで後悔の気持ちだけでなく、本当の自由とは規則を守って、相手や周りのことを考えて行動することが大切なことに気がつき、これからは大切にしていきたいと思う王の気持ちに共感させていきたい。中心発問をより効果的にする補助発問として「ジェラール王が考えた本当の自由はどういうことなのだろう」と問い合わせ、ねらいについて深く考えさせていきたい。

## 7. 準備物

場面絵・短冊・心のノート

## 8. 活動の流れ

	学習活動	主な発問と予想される児童の反応	留意点
導入	1 「自由」について 思いを出し合う。	○こんなことが自由になればいいのにということはありませんか。	○自由に感想を出し合う。
展開	2 資料「うばわれた 自由」を聞いて話し 合う。	<p>○ガリューに「とらえてやる」といわれた王子は、どんな気持ちでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生意気だ。やれるものならやってみろ。私は王子だぞ。</li> <li>王子に向かって無礼なやつだ。</li> <li>どうしようと私の自由だ。</li> <li>王子なのだから、何をしてもいいのだ。</li> </ul> <p>○ガリューは、とらえられて何を考えているのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>どうして私がとらえられなければならぬんだ。</li> <li>自分の考えは間違っていない。</li> <li>このままみんなが自分勝手なことをしたら、どうなるだろうか。</li> <li>この国はどうなっていくのだろうか。</li> </ul> <p>○しばらくの間、黙り、そして、はらはらと涙を流した王子は、どんなことを考えていたでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>もう手遅れだ。私の自由も奪われてしまった。</li> <li>ああ、私は自分勝手な行動をしていた。</li> <li>自由とは何をしてもいいということではなかった。</li> <li>自分のせいで国がだめになってしまった。</li> <li>本当の自由にもっと早く気がつけばよかった。</li> </ul> <p>○ガリューに「ごいっしょに本当の自由を大切にして、生きてまいりましょう。」と言われたジェラールは何と答えたでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>おお。待っていてくれ。</li> <li>生まれ変わっていきたい。</li> <li>今度こそは私も本当の自由を大切にしていきたい。</li> <li>ありがとうガリュー。これから自由が大切にされる国にしていこう。</li> <li>本当の自由とは、自分だけのことを考えず、相手のことを考えて生活することだ。</li> </ul>	<p>○自分勝手を自由ととらえている王子の気持ちをとらえる。</p> <p>○ガリューは規則の上に立つ自由を守り、大切にしている思いや國のことも心配していることに気づかせていく。</p> <p>○ジェラール王の身勝手な行動が自分をダメにするだけでなく、國をも乱してしまったことに気づかせる。</p> <p>○身勝手な行動をした自分に後悔し、本当の自由について気づいていく王の気持ちに共感させる。</p> <p>○本当の自由を大切にいきたいという思いが高まった王子の気持ちに共感する。</p> <p>○「本当の自由」とは何かについて深く考えさせていく。</p>
終末	4 教師の説話を聞く。	○先生の話を聞きましょう。	○価値を温め、余韻をもって終わる。